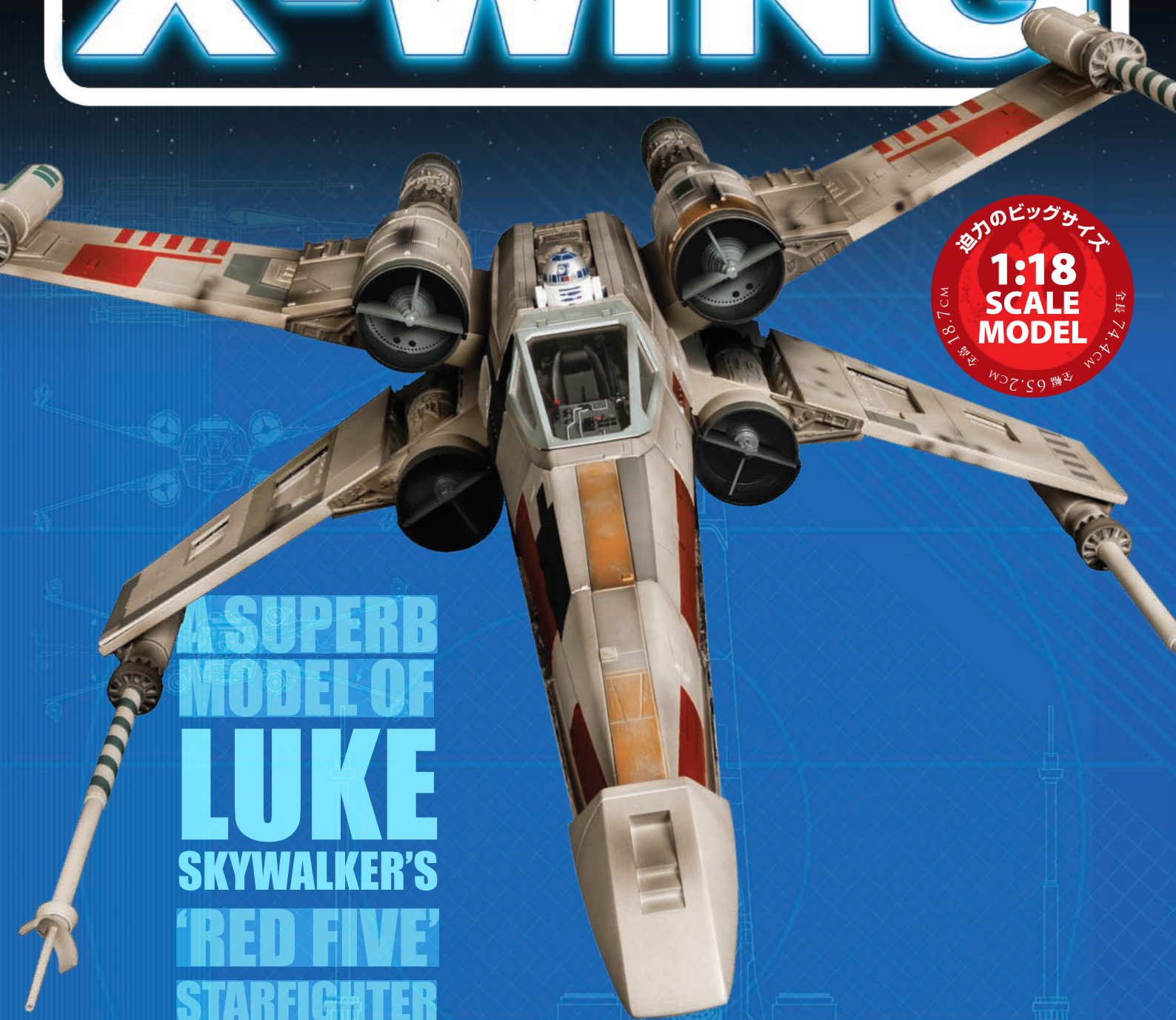


STAR WARS™

1

BUILD YOUR OWN

X-WING



迫力のビッグサイズ
1:18
SCALE
MODEL
全長 74.4cm
全幅 65.2cm
全高 18.7cm

A SUPERB
MODEL OF
LUKE
SKYWALKER'S
'RED FIVE'
STARFIGHTER



DEAGOSTINI

第1回配本 組立内容

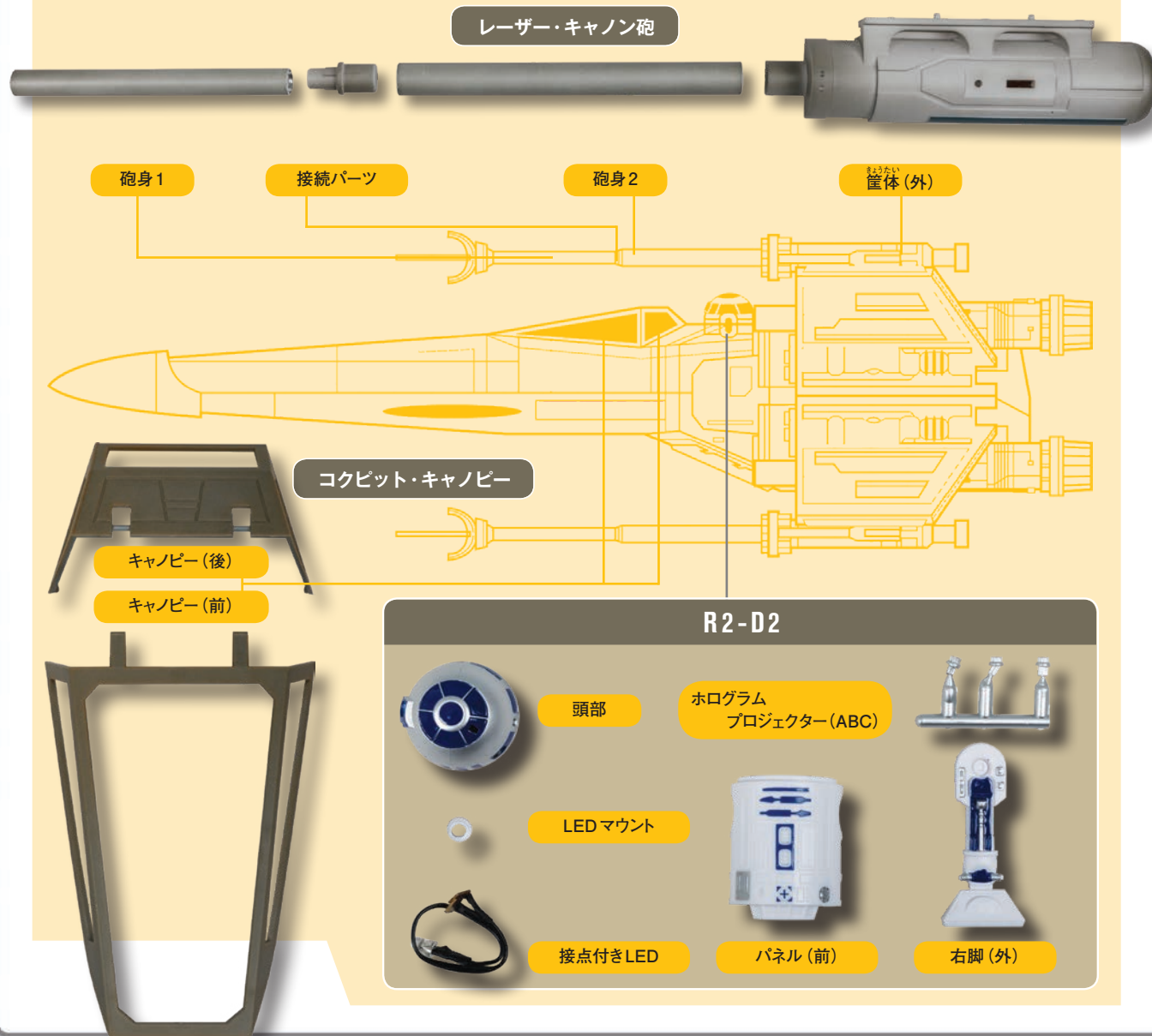
- STAGE 1** コクピット・キャノピー、レーザー・キャノン砲、アストロメク・ドロイド(R2-D2) …… 2
- STAGE 2** レーザー・キャノン砲、コクピット・ベース、アストロメク・ドロイド(R2-D2) …… 8
- STAGE 3** アストロメク・ドロイド(R2-D2)、コクピット・フレーム、レーザー・キャノン砲 …… 12
- STAGE 4** コクピット・ベース、アストロメク・ドロイド(R2-D2)、レーザー・キャノン砲 …… 18

コクピット・キャノピー、レーザー・キャノン砲、アストロメク・ドロイド(R2-D2)

このステージでは、ルーク・スカイウォーカーが搭乗したXウイング「レッド5」の開閉可能なコクピット・キャノピーと、右主翼上部に搭載するレーザー・キャノン砲を構成する4つのパーツを組み立てる。そして、R2-D2のパーツはドーム型の頭部、ボディ前面のパネル、ホログラムプロジェクターのほか、ディスプレイを内側から光らせるための接点付きLEDが提供される。なお、レーザー・キャノン砲とR2-D2は、ステージ4までの組み立てで完成することができる。

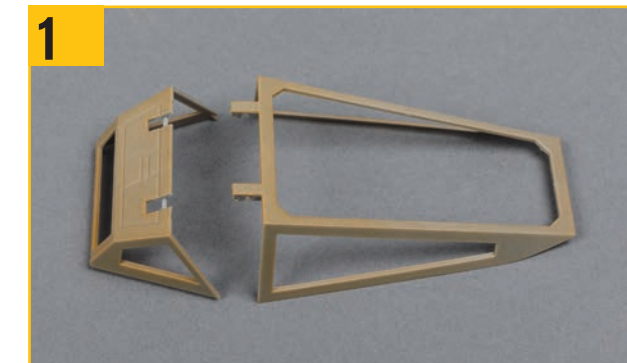
ステージ1の提供パーツ

部品が揃っているかを確認し、それぞれがXウイングのどの部分を構成するのを見てみよう。

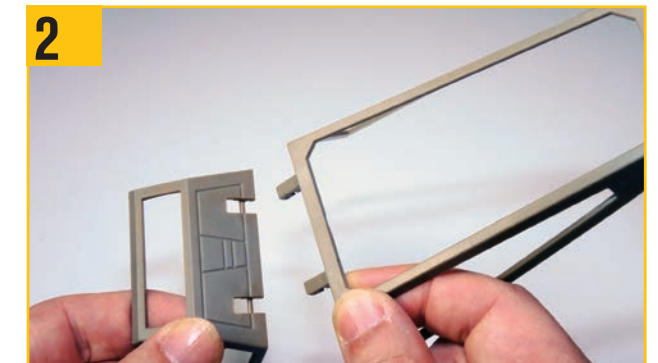


コクピット・キャノピーの組み立て

コクピット・キャノピーは2つの部品で構成されている。前部のパーツはヒンジ(ちょうつがい)によって開閉するように組み立てる。また、後部のパーツは後の号で胴体に取り付ける。



1 キャノピー後部とキャノピー前部を用意する。



2 キャノピーを開いた状態で、キャノピー前部から突き出ているヒンジ部分をキャノピー後部の穴に差し込む。



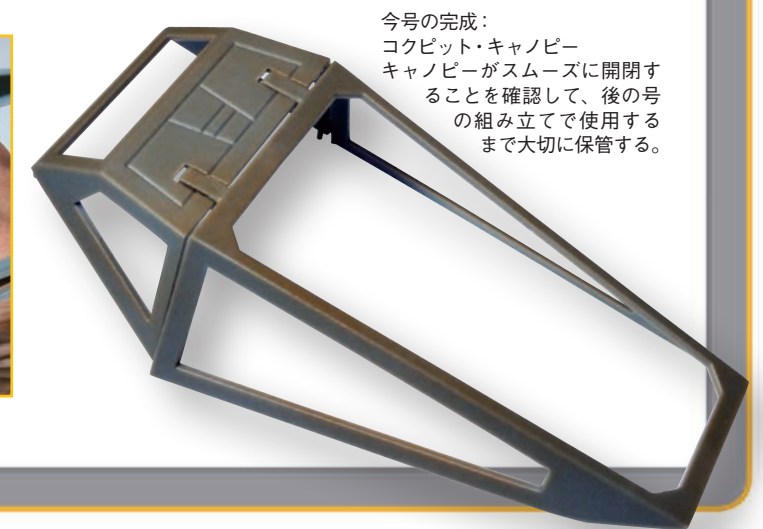
3 キャノピー後部の片方のピンにヒンジ部分を引っ掛け(赤矢印)、ピンを巻き込むようにしてキャノピーを閉じる。



4 ヒンジがピンにカチッとハマれば、取り付け完了だ。



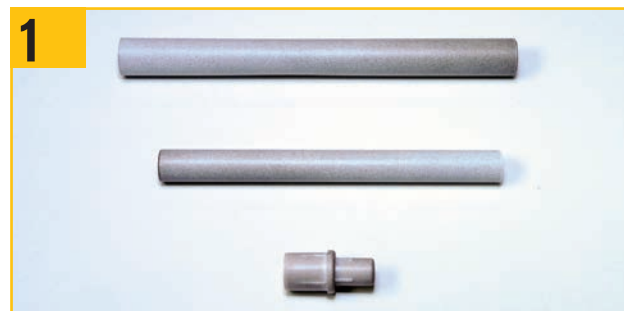
5 同様に反対側のヒンジにピンを取り付ける。



今号の完成：
コクピット・キャノピー
キャノピーがスムーズに開閉することを確認して、後の号の組み立てで使用するまで大切に保管する。

レーザー・キャノン砲の組み立て

レーザー・キャノン砲の砲身を構成する3つのパーツを組み立てる。完成した砲身と、提供された筐体(外)はステージ4の組み立てで使用するので、それまでは大切に保管する。



砲身1、砲身2、接続パーツを用意する。



砲身2のウェザリング(赤矢印)がある側に、接続パーツの大きさを合わせて、砲身2を回転させながらしっかりと差し込む。



写真のように、しっかりと差し込まれていることを確認する。



接続パーツの反対側に、砲身1のウェザリングがある側を差し込む。



本ステージの完成：砲身
保管パーツ：筐体(外)

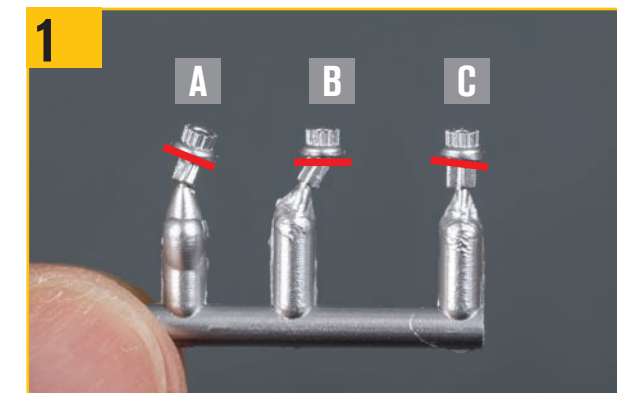
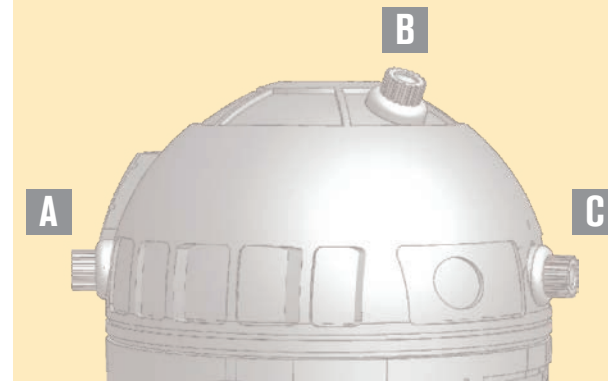
レーザー・キャノン砲のギミック

完成したレーザー・キャノン砲は、Sフォイルの右翼上部先端に取り付けられる。レーザー発生装置ユニットは、ステージ2でLEDを組み込むことで、レーザーが発射されているかのように光る。

R2-D2の頭部ドームの組み立て

R2-D2の頭部ドームに、3つのホログラムプロジェクターを取り付ける。作業に接着剤は必要とせず、すべてのパーツを手で差し込むだけで組み立てられるが、その際取り付ける場所と、パーツの向きに注意する。

ホログラムプロジェクターの取り付け位置



ホログラムプロジェクター(ABC)には3つのパーツがあり、それぞれの取り付け場所に合わせた形になっている。



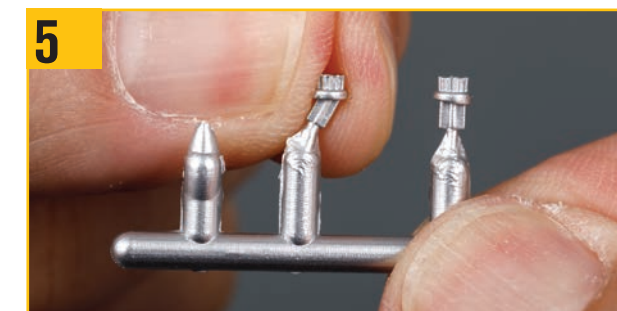
ランナーからAを慎重に折って外す。



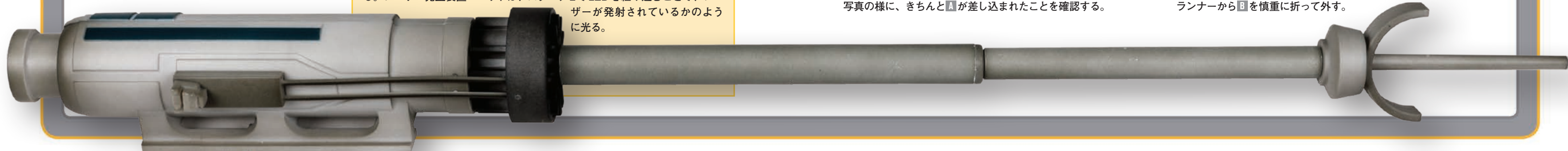
Aの向きを確認して、頭部の写真に示した取り付ける場所にある穴に差し込む。



写真の様に、きちんとAが差し込まれたことを確認する。



ランナーからBを慎重に折って外す。





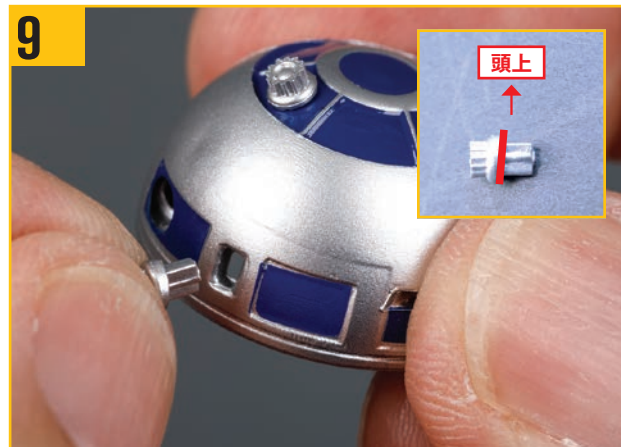
6の向きを確認して、頭部の写真に示した場所にある穴に差し込む。



写真のように、きちんと6が差し込まれたことを確認する。



ランナーから8を慎重に折って、外す。



9の向きを確認して、頭部の写真に示した場所にある穴に差し込む。



写真のように、きちんと10が差し込まれたことを確認する。

本ステージの完成：頭部
保管パーツ：LEDマウント、接点付きLED、
パネル(前)、右脚(外)



アストロメク・ドロイド製作

アストロメク・ドロイド (R2-D2) について

アストロメク・ドロイド (R2-D2) は、映画に登場する反乱同盟軍基地のシーンで見られるように、Xウイングのドロイド・ソケットに脱着可能な分離型ユニットだ。ステージ4までのパーツと組み立てて完成するR2-D2も、本物と同じようにXウイングに寄せたり、降ろしたりすることができる。ここではR2-D2やXウイングのドロイド・ソケットについて紹介する。



本ステージでホログラムプロジェクターを取り付けた頭部と、保管パーツ。



Xウイングに搭載されたR2-D2には、ボディの中心にあるシャフトに取り付けられたドーム型の頭部が回転し、接点付きLEDが光るというギミックがある。



Xウイングから降ろしたR2-D2には、センター・レッグを取り付けることができる。



Xウイングの機体上部にあるドロイド・ソケット。ここにR2-D2を搭載することで、光と動きのギミックを楽しむことができる。

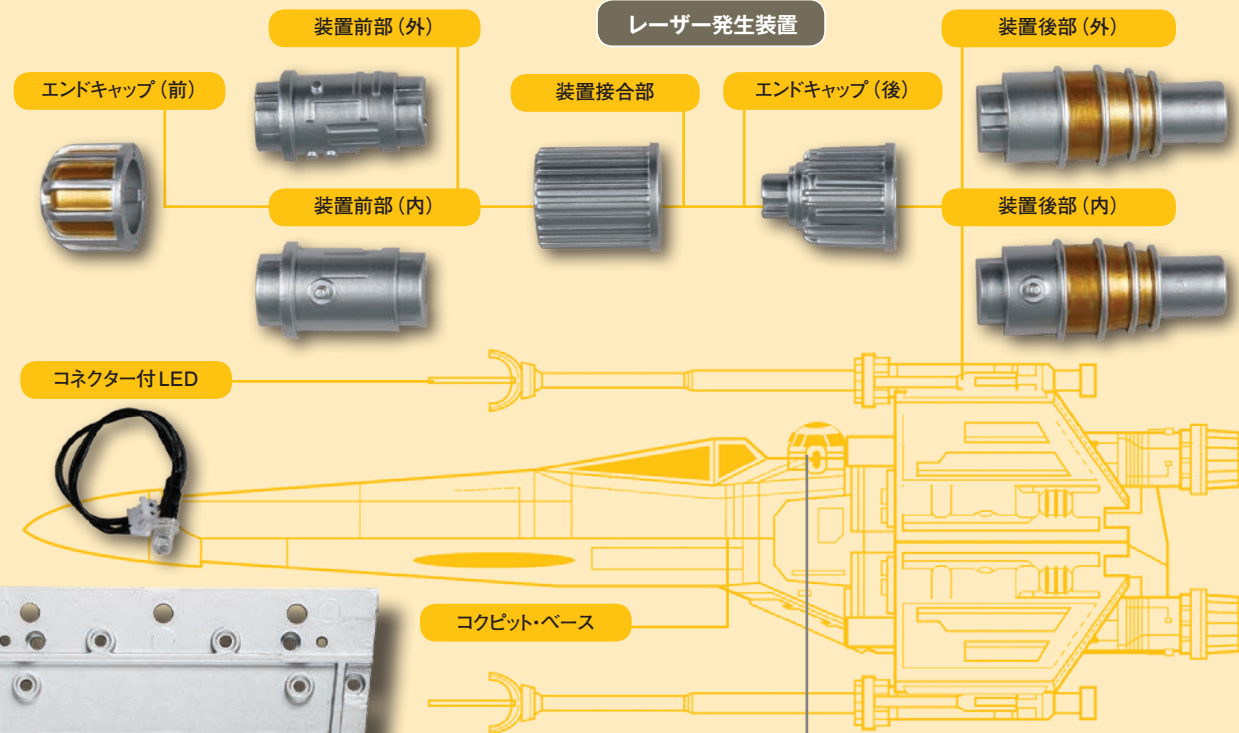


レーザー・キャノン砲、コクピット・ベース、 アストロメク・ドロイド (R2-D2)

このステージでは、1門目のレーザー・キャノン砲の内部に装着するレーザー発生装置を完成させる。また、R2-D2は左脚を組み立てる。ダイキャスト製のコクピット・ベースは、Xウイング「レッド5」の操縦席の土台となるパーツで、ステージ3から始める組み立てまで大切に保管する。

ステージ2の提供パーツ

部品が揃っているかを確認し、それぞれがXウイングのどの部分を構成するのか見てみよう。

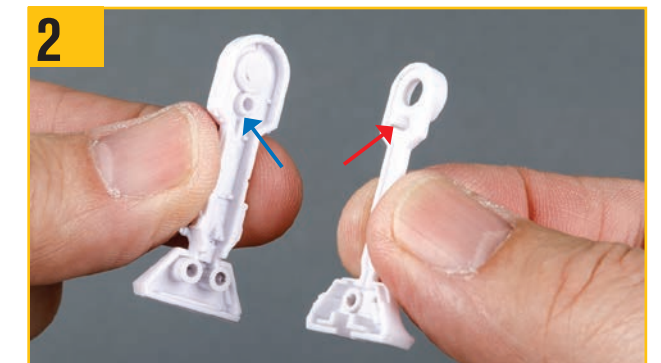


R2-D2の左脚を 組み立てる

R2-D2の左脚は、彩色されたパーツを含め5つのパーツで構成される。組み立てはすべてはめ込みで行うが、パーツが小さいので取り付け位置を確認し、破損しないように注意して作業する。



左脚(外)、左脚(内)、ジョイントパーツ、電源ユニット(前)、電源ユニット(本体)を用意する。



左脚(内)の内側にあるピン(赤矢印)を、左脚(外)にある穴(青矢印)に差し込むようにして、パーツの形を合わせる。



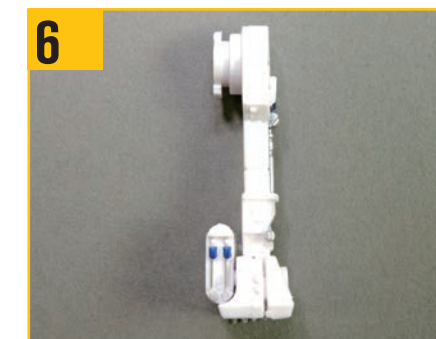
両方のパーツをしっかりとめ込む。



ジョイントパーツにある突起を上と下の位置にして、写真の向きで左脚(内)の穴にはめ込む。



電源ユニット(前)の突起のある側を、電源ユニット(本体)の凹部分にはめ込む。



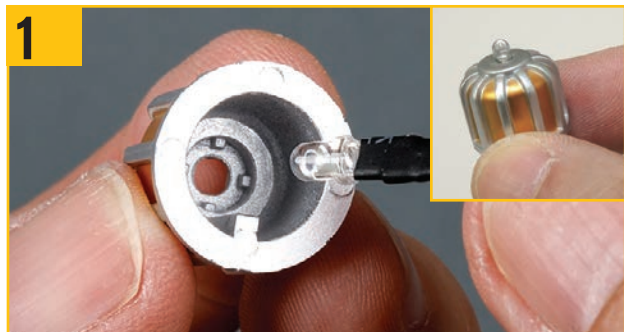
電源ユニット(本体)にある2本の突起を、左脚(内)にある2つの穴に合わせて、写真のようにはめ込む。

本ステージの完成: 左脚

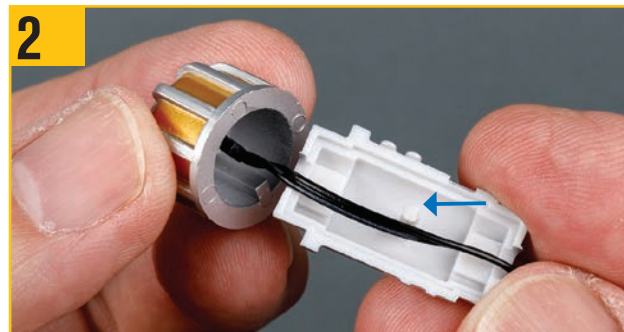


レーザー発生装置を組み立てる

このステージで完成するレーザー発生装置は、レーザー発射を再現するLEDを備えており、後のステージでレーザー・キャノン砲の筐体の中に取り付ける。



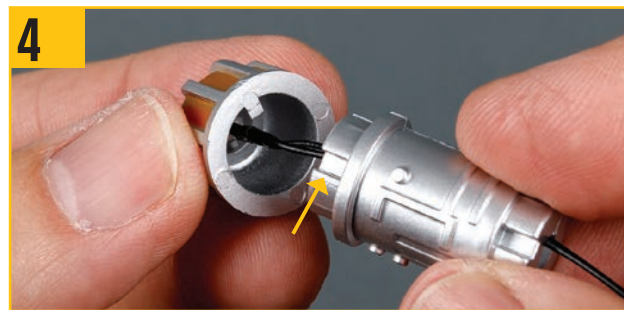
1 エンドキャップ(前)の裏側から、コネクタ付LEDを、右上挿入写真のように奥まで差し込む。*差し込みづらい場合はピンセットを使って差し込んで下さい。その場合はケーブルを傷つけない様に十分注意して下さい。



2 装置前部(内)を写真のように持ち、裏側にある突起(青矢印)を避けるように、ケーブルを通して置く。



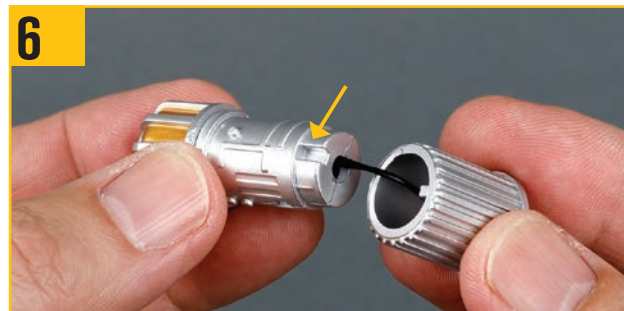
3 ステップ2で確認した突起を、装置前部(外)にある穴(赤矢印)に差し込むようにして組み合わせる。このとき、ケーブルを挟み込まないように注意する。



4 装置前部(内)と(外)を押さえたまま、装置前部(外)にある凹部(黄矢印)と、エンドキャップ(前)にある突起を合わせるようにして差し込む。



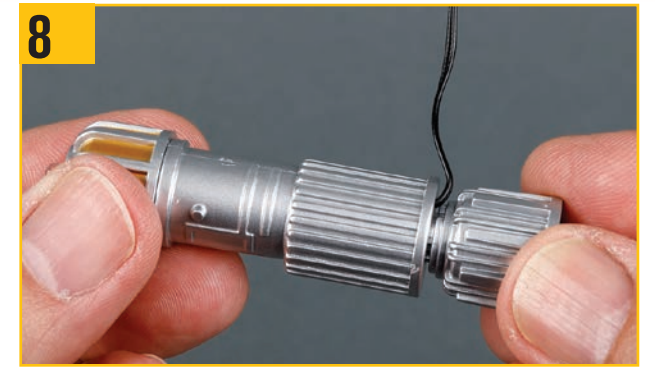
5 装置接合部を写真の向きで持ち、コネクタ付LEDのケーブルを通す。



6 装置接合部の突起と、装置前部(外)にある凹部(黄矢印)を合わせるようにして装置前部(外)を差し込む。



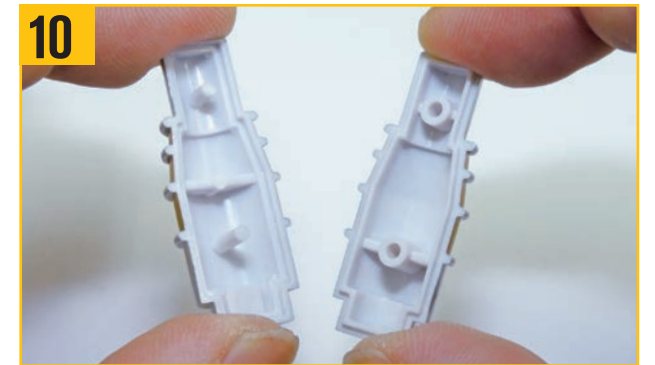
7 装置接合部の凹部(赤矢印)にケーブルを通してから、エンドキャップ(後)の凹部と、装置接合部の突起を合わせて差し込む。



8 エンドキャップ(後)がきちんと差し込まれたことを確認する。



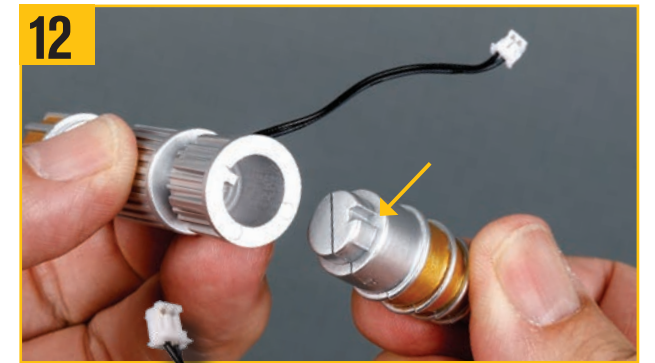
9 装置後部(外)と装置後部(内)の向きを合わせる。



10 装置後部(外)にある2本の突起を、装置後部(内)にある穴に差し込む。



11 装置後部(内)と(外)をきちんと組み合わせる。



12 装置後部(外)にある凹部(黄矢印)と、エンドキャップ(後)にある突起を合わせるようにして、差し込む。



13 すべてのパーツがきちんと組み立てられたことを確認する。

本ステージの完成:
レーザー発生装置



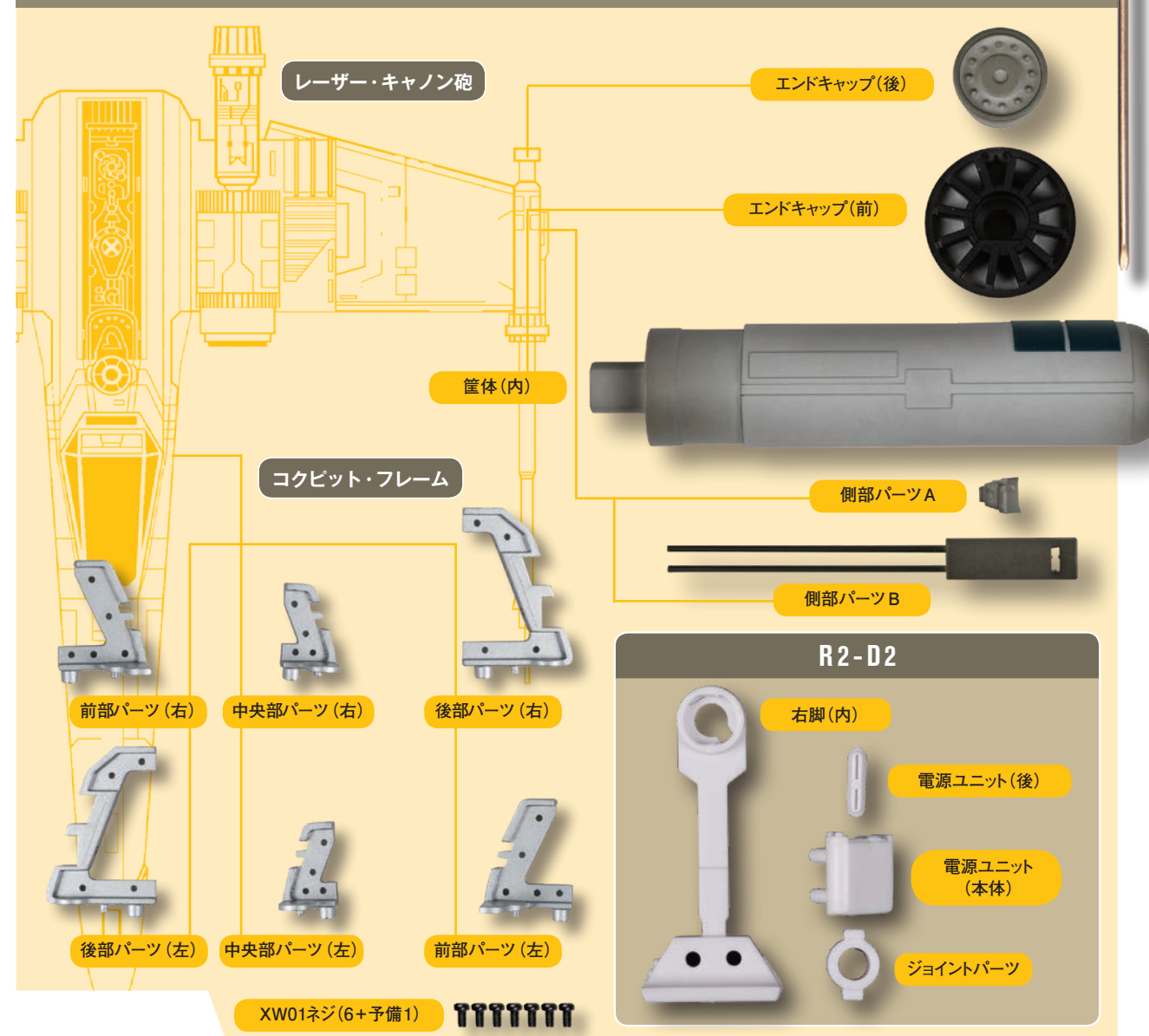
アストロメク・ドロイド(R2-D2)、 コクピット・フレーム、 レーザー・キャノン砲

このステージではステージ1で保管したパーツと合わせて、R2-D2の右脚を組み立てるが、その中にはR2-D2を光らせるためのLEDの接点を取り付ける。また、レーザー・キャノン砲や、コクピット・フレームを組み立てる。

提供するブラストライパー(00番)は、のちの組み立てでも使用するので、工具として保管する。

ステージ3の提供パーツ

部品が揃っているかを確認し、それぞれがXウイングのどの部分を構成するのか見てみよう。



R2-D2の右脚を 組み立てる

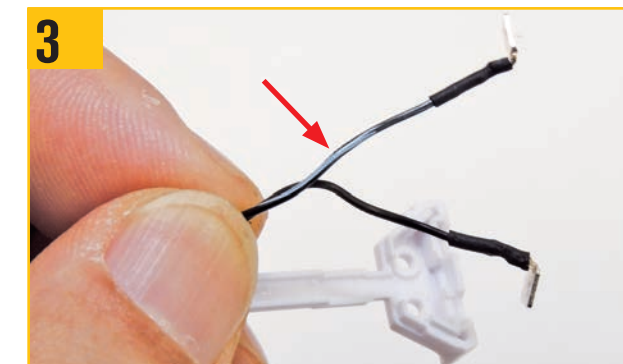
R2-D2の右脚の組み立てはステージ2で組み立てた左脚とほとんど同じ方法だが、右脚の内部には、LEDに繋がるケーブルやふたつの接点を組み込む必要がある。



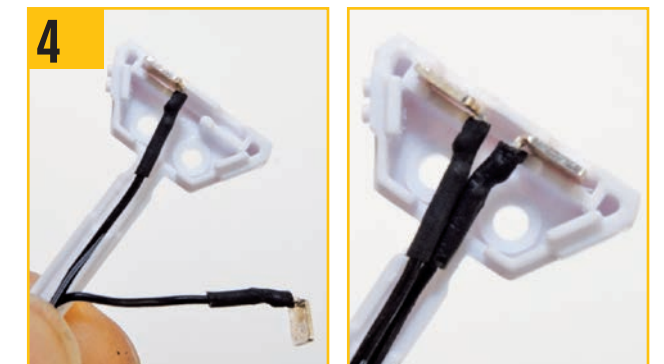
このステージ提供のR2-D2パーツと、ステージ1で提供の接点付きLED、右脚(外)を用意する。



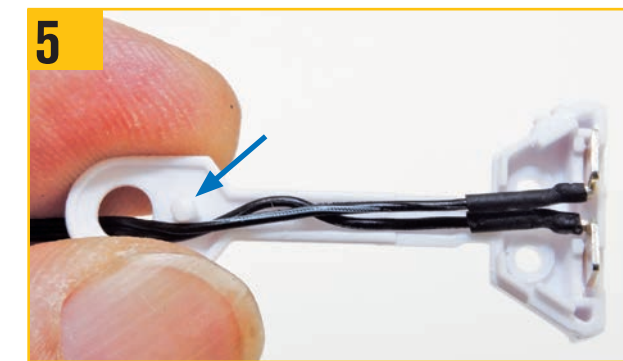
右脚(内)にある穴に、内側から接点付きLEDを写真のように通す。



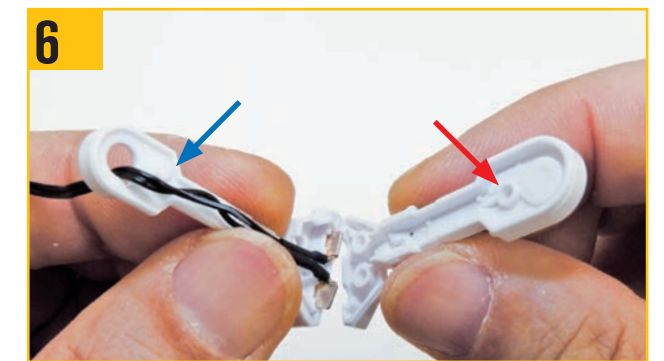
接点付きLEDのケーブルの白いライン(赤矢印)のあるほうの接点を、ステップ4の写真を参照して、溝に差し込む。



ステップ3の取り付けを確認したら、もう一方の接点を右足(内)の溝に差し込む。



接点がきちんと差し込まれていることを確認し、接点付きLEDのケーブルを内側に収める。このとき、右足(内)にある突起(青矢印)に注意する。



右脚(内)にある突起(青矢印)を、右脚(外)の内側にある穴(赤矢印)に差し込むようにして、パーツの形を合わせる。

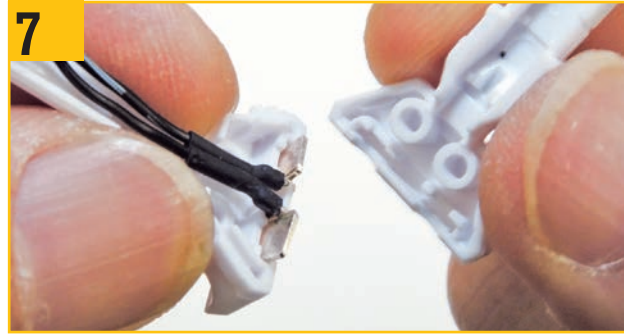
※白いラインが判別しづらい場合は次の挿入ページを参照して特定してください。

STAR WARS™ BUILD YOUR OWN™ X-WING

接点付きLEDケーブルの 接点板の識別



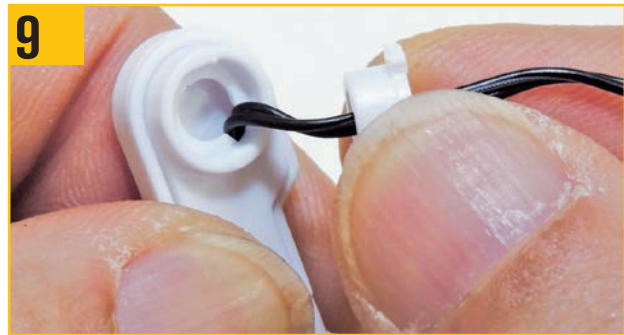
ステージ4で提供の電池ボックス&接点ベースを用意する。R2-D2の右脚にLEDケーブルを右足(内)溝に差し込んで仮り組み立てを行う。接点ベースに脚を乗せて点灯テストを行う。点灯した場合はそのまま組み立てる。点灯しない場合には接点を逆に取り付け点灯テストを行い点灯すればそのまま組み立てる。



7 ステージ2で組み立てた左脚とは異なり、右脚には接点やケーブルがあるので、特に注意する。



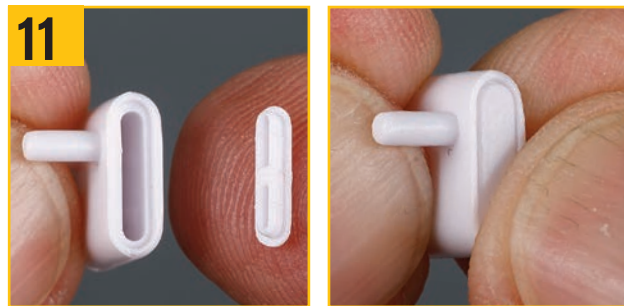
8 右脚(内)と(外)をしっかりとめ込む。



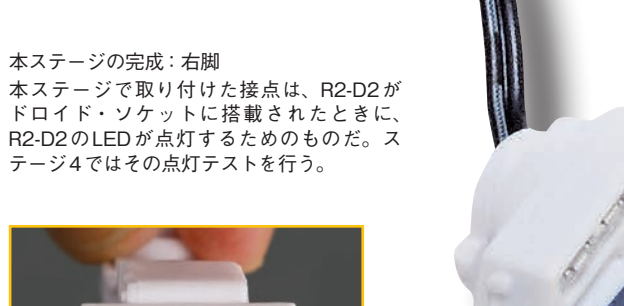
9 ジョイントパーツに接点付きLEDのLEDを通してから、ジョイントパーツにある突起が上と下になるようにして、写真の向きで右脚(内)の穴にはめ込む。



10 写真のように、正しく組み立てられていることを確認する。



11 電源ユニット(後)の突起のある側を、電源ユニット(本体)の凹部分にはめ込む。



本ステージの完成：右脚
本ステージで取り付けした接点は、R2-D2がドロイド・ソケットに搭載されたときに、R2-D2のLEDが点灯するためのものだ。ステージ4ではその点灯テストを行う。

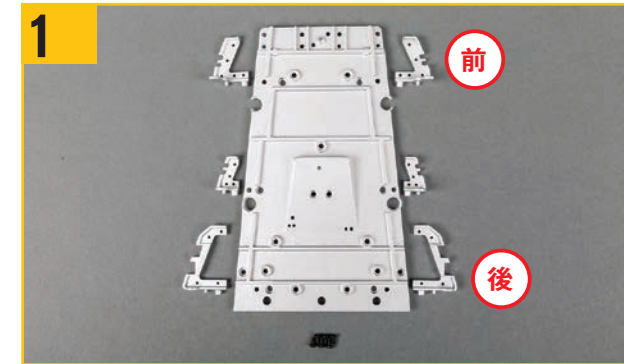


12 電源ユニット(後)にある2本の突起を、右脚(内)にあるふたつの穴に、写真の向きで差し込む。

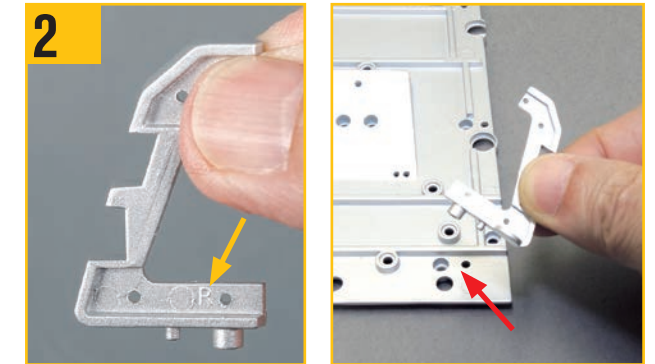


コクピット・フレームの組み立て

今号で組み立てるコクピット・フレームは、あとの号でパイロットの操縦席やコントロール・パネルを取り付けてから、Xウイングの機体に収める。



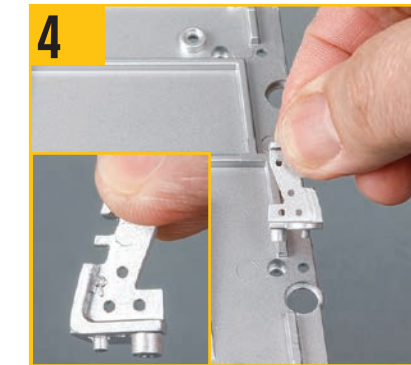
1 このステージで提供されたコクピット・フレームのパーツと、XW01ネジ、ステージ2提供のコクピット・ベースを用意する。



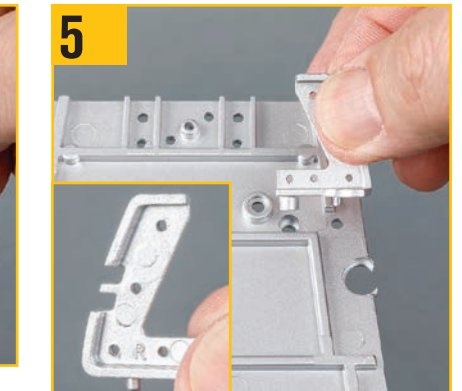
2 後部パーツ(右)にある「R」の刻印(黄矢印)を確認し、コクピット・ベースの右側後部にある大きさの違うふたつの穴(赤矢印)に合わせて差し込む。



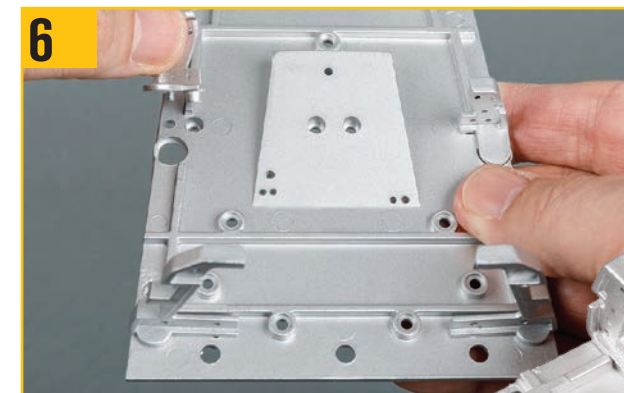
3 後部パーツ(右)を押さえながらコクピット・ベースの裏返し、写真のようにプラスドライバー(00番)を使用して、XW01ネジで固定する。



4 中央部パーツ(右)を同様に、コクピット・ベースの右側中央部にある穴に合わせて、XW01ネジでネジ留めする。

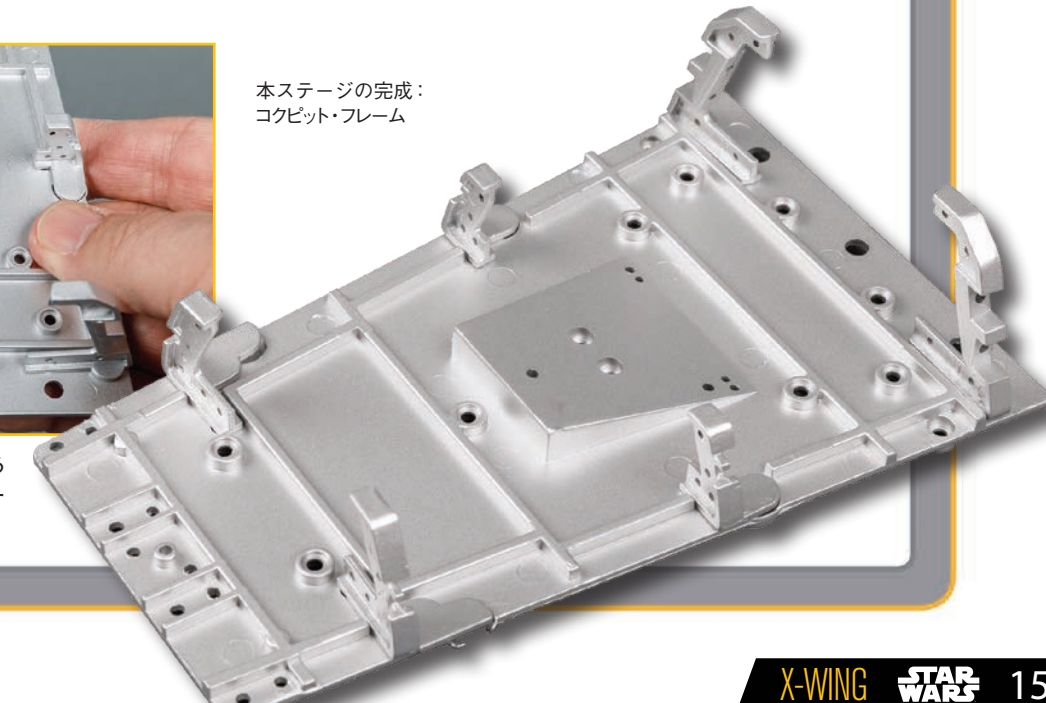


5 前部パーツ(右)を同様に、コクピット・ベースの右側前部にある穴に合わせて、XW01ネジでネジ留めする。



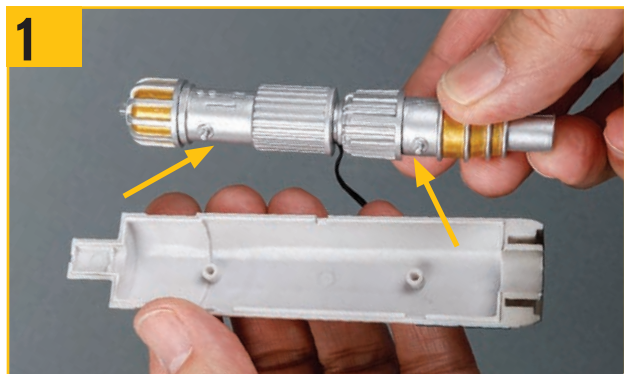
6 本ステージの完成：コクピット・フレーム

ステップ2~5を参照して、「L」の刻印がある後部パーツ(左)、中央部パーツ(左)、前部パーツ(左)を取り付ける。

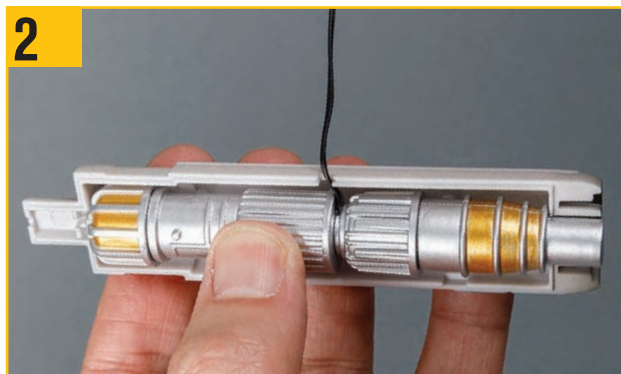


レーザー・キャノン砲の組み立て

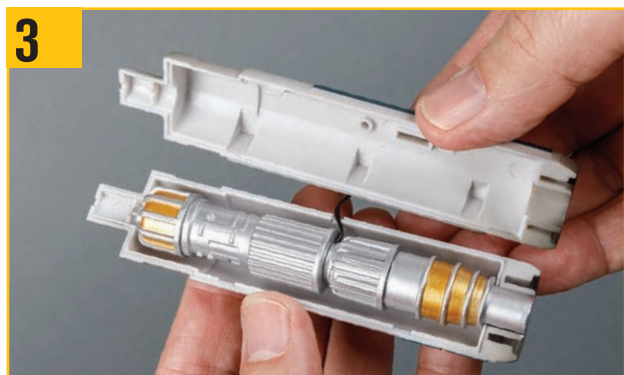
このステージでは、ステージ2で組み立てたレーザー発生装置を筐体の中に収め、ステージ1で組み立てた砲身を取り付ける。



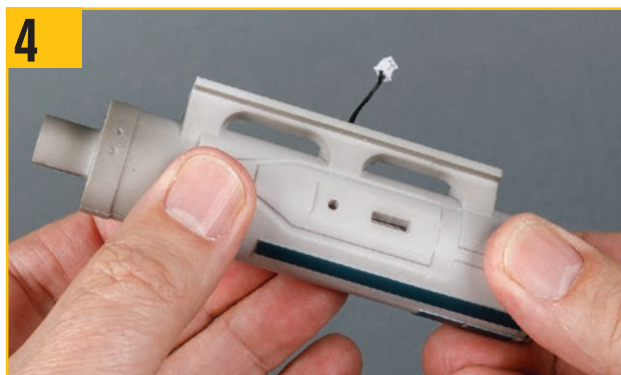
ステージ2で作成したレーザー発生装置にある2本の突起(黄矢印)を、筐体(内)にあるふたつの穴に合わせて、写真の向きで差し込む。



レーザー発生装置から出ているケーブルを、筐体(内)の切り込みに通す。



筐体(内)とステージ1提供の筐体(外)を写真の向きで組み合わせる。



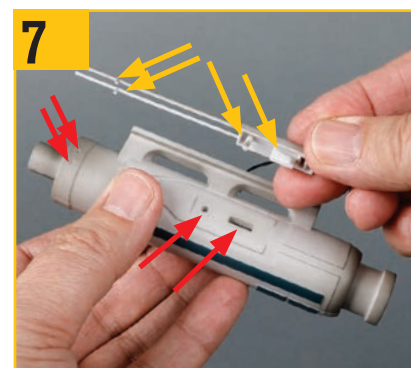
ケーブルの挟み込みがなく、筐体(内)と(外)がぴったりと合っていることを確認する。



エンドキャップ(後)を筐体の後部に差し込む。



エンドキャップ(後)を、写真のところでしっかりと差し込む。



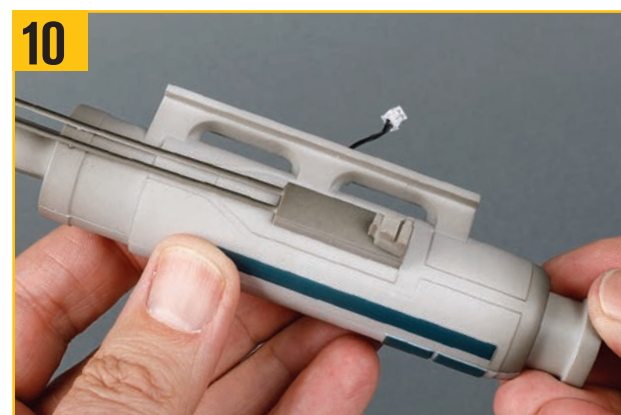
側部パーツBにある突起(黄矢印)と、筐体(外)にある穴(赤矢印)を確認する。



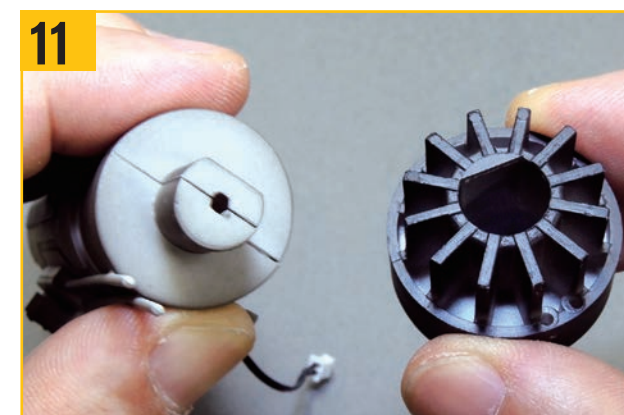
ステップ7で確認した突起を、形を合わせて穴に差し込む。



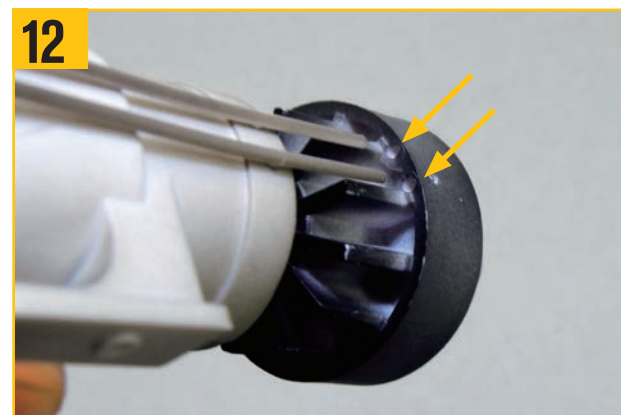
側部パーツAの突起を、写真の向きで外側パーツBの穴に差し込む。



写真のように取り付けられたことを確認する。



エンドキャップ(前)と筐体(内)のDカットを合わせて取り付ける。



そのとき、筐体パーツBの先端(2本)を、エンドキャップ(前)にあるふたつの穴(黄矢印)に差し込むようにする。



エンドキャップ(前)の先端に、ステージ1で作成した砲身を差し込む。

本ステージの完成：レーザー・キャノン砲
レーザー・キャノン砲はステージ4で完成し、レーザー発生装置内に取り付けたLEDの点灯テストを行う。



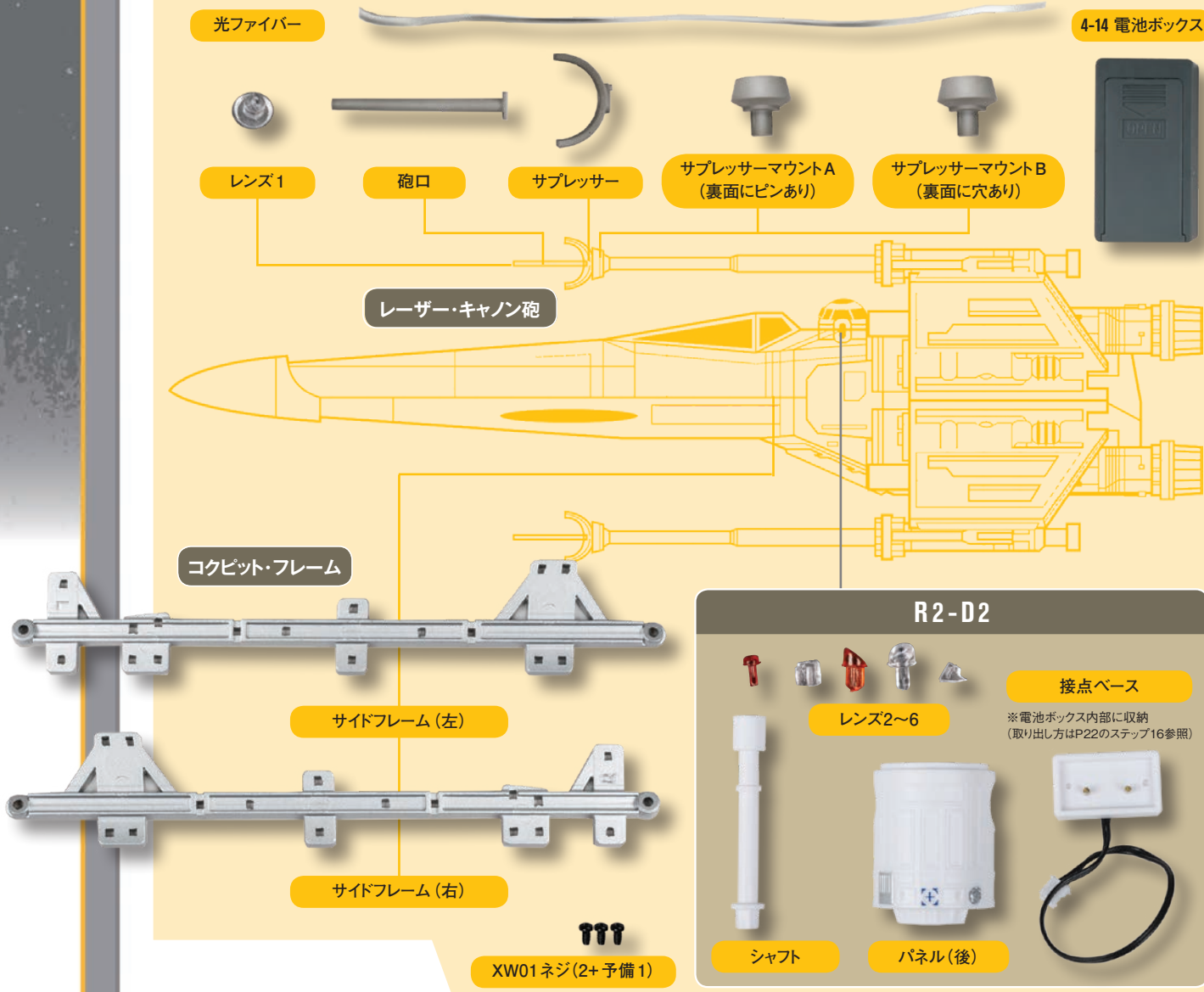
コクピット・ベース、アストロメク・ドロイド (R2-D2)、レーザー・キャノン砲

このステージでは、これまでに組み立てたコクピット・ベース、R2-D2、右舷上翼に取り付けるレーザー・キャノン砲を完成させる。また、提供される電池ボックスに乾電池*を入れて、R2-D2やレーザー・キャノン砲に搭載されたLEDの点灯テストを行う。

※単4形アルカリ乾電池2本 (別売)

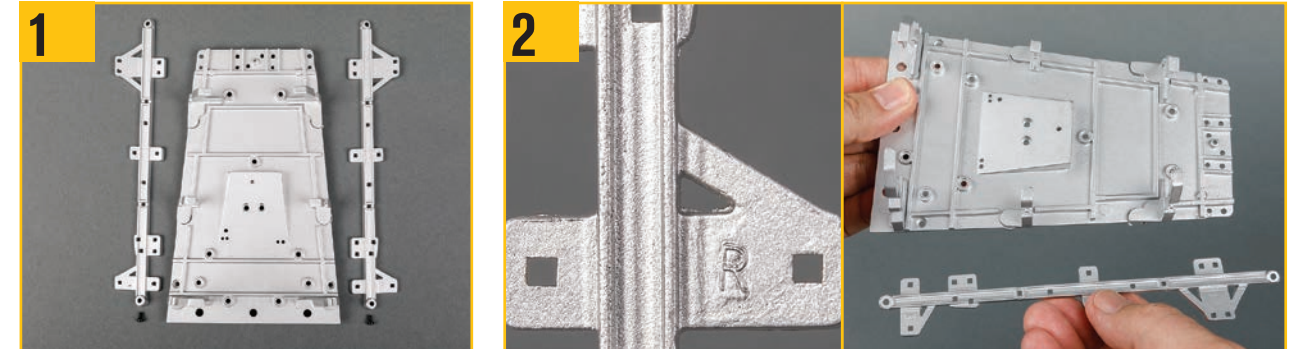
ステージ4の提供パーツ

部品が揃っているかを確認し、それぞれがXウイングのどの部分を構成するのか見てみよう。



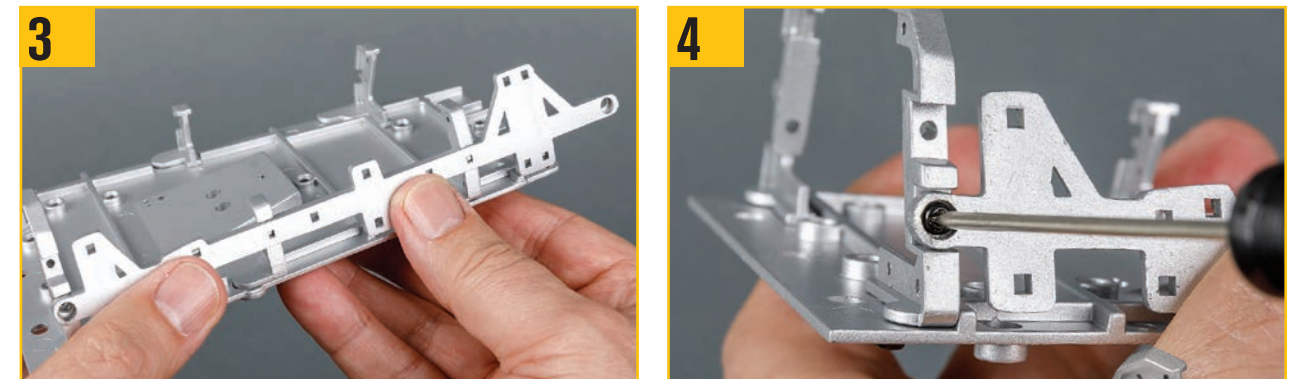
コクピット・ベースを完成させる

ステージ3ではコクピット・ベースに縦型のコクピット・フレームを取り付けたが、このステージではそこにサイドフレームを取り付け、コクピット・ベースを完成させる。



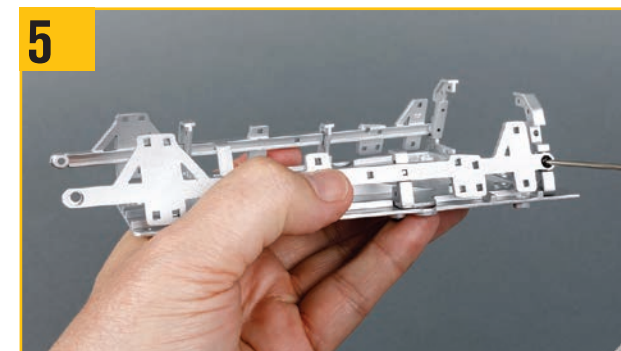
サイドフレーム (左)、サイドフレーム (右)、XW01ネジ2本と、ステージ3で作成したコクピット・フレームを用意する。

サイドフレームには左右を見分ける「R」と「L」の刻印があるので、「R」とあるサイドフレーム (右) をコクピット・フレームの右側に合わせる。



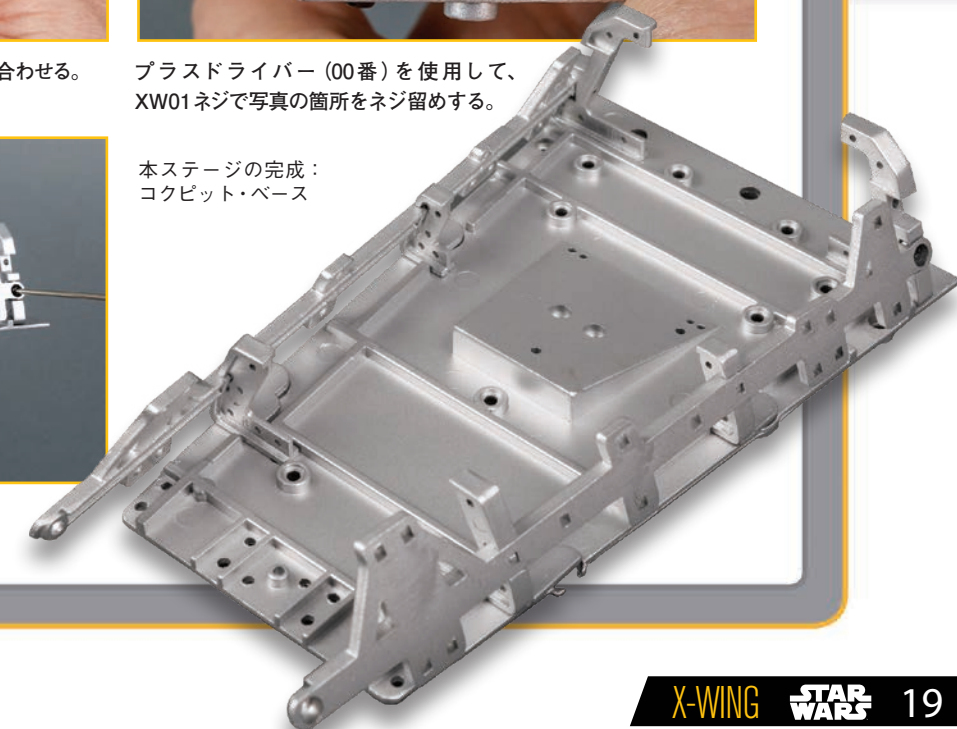
サイドフレーム (右) とコクピット・フレームを写真の様に組み合わせる。

プラスドライバー (00番) を使用して、XW01ネジで写真の箇所をネジ留めする。



同様に「L」と刻印のあるサイドフレーム (左) を、XW01ネジでネジ留めする。

本ステージの完成：
コクピット・ベース

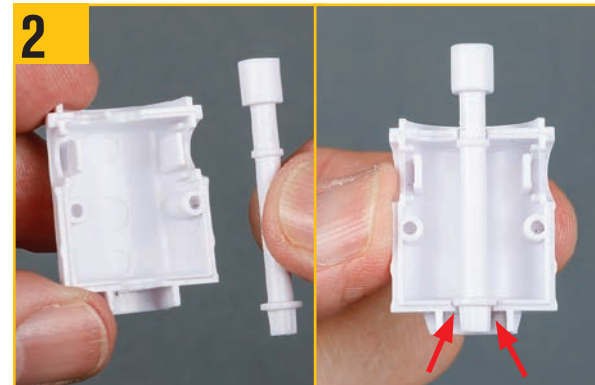


R2-D2を完成させる

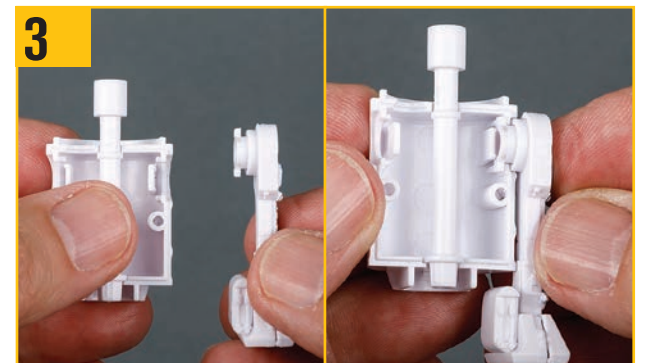
R2-D2はとても小さいが、Xウイングのドロイド・ソケットに搭載すると、右脚にある接点によりLEDが点灯し、内蔵されたシャフトにより頭部が回転するギミックを備えている。このステージではR2-D2を完成させ、LEDの点灯テストを行う。



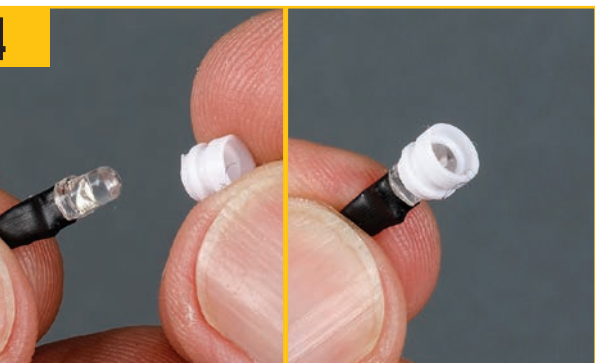
レンズ2~6、シャフト、パネル(後)と、ステージ1で作成した頭部、ステージ1提供のLEDマウント、パネル(前)、ステージ2、3で作成した左脚、右脚を並べる。



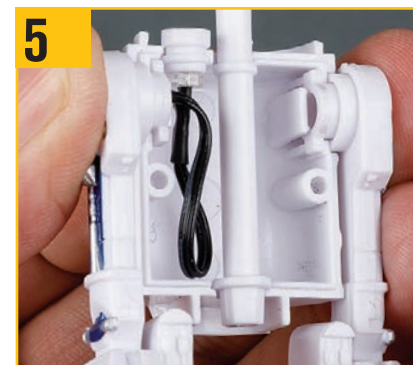
パネル(後)の内側にシャフトをセットする。このとき、シャフトのツバとパネル(後)の凹部分(赤矢印)を合わせる。



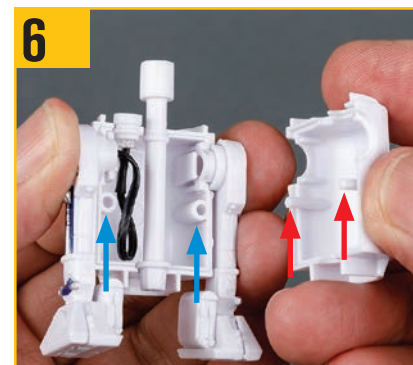
左脚をパネル(後)にセットする。外れやすい場合はジョイント部を接着してもよい。なお、R2-D2の左右の脚は可動しないので、取り扱いには注意する。



右脚にあるLEDに、LEDマウントを写真の向きでかぶせる。



LEDマウントの段差部分をパネル(後)に合わせてから、ケーブルを内側に取めて、右脚をセットする。外れやすい場合は接着してもよい。



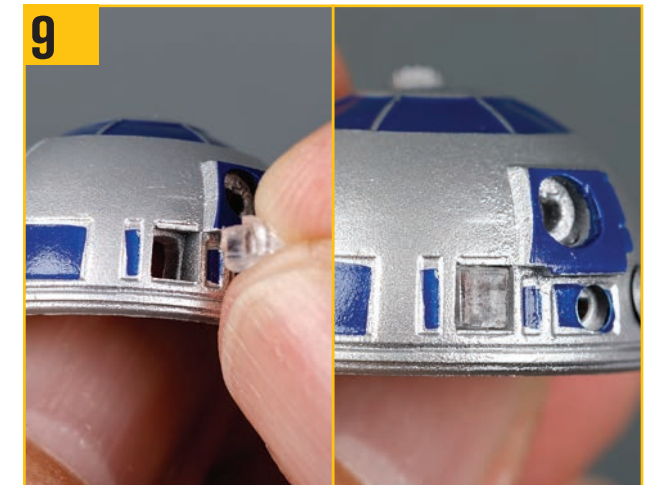
これまでにセットしたパーツが外れないように注意しながら、パネル(前)にある2本の突起(赤矢印)を、パネル(後)にある穴(青矢印)に合わせる。



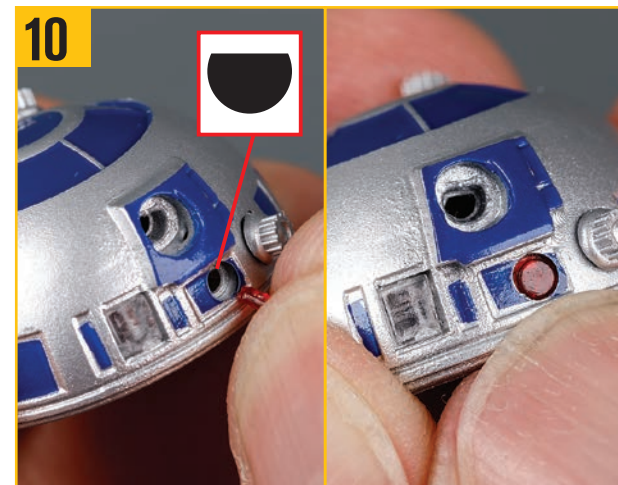
パーツやコードの挟み込みがないことを確認したら、パネル(前)と(後)をピッタリと組み合わせる。



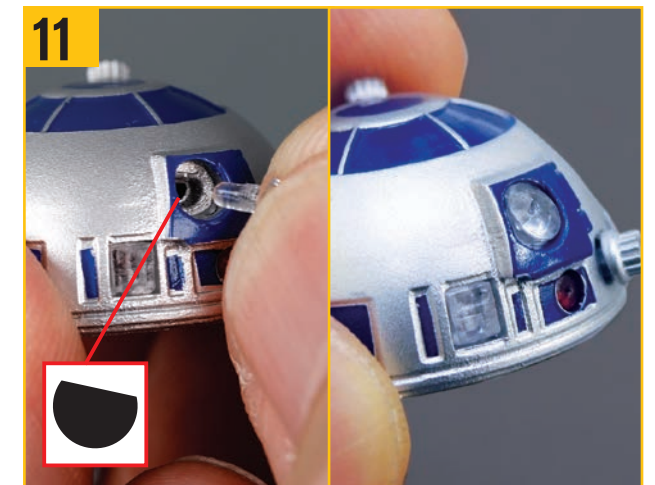
写真を参考にそれぞれのレンズの形と2~6の番号を確認する。1はレンズ1で、レーザー・キャノン砲に取り付ける。



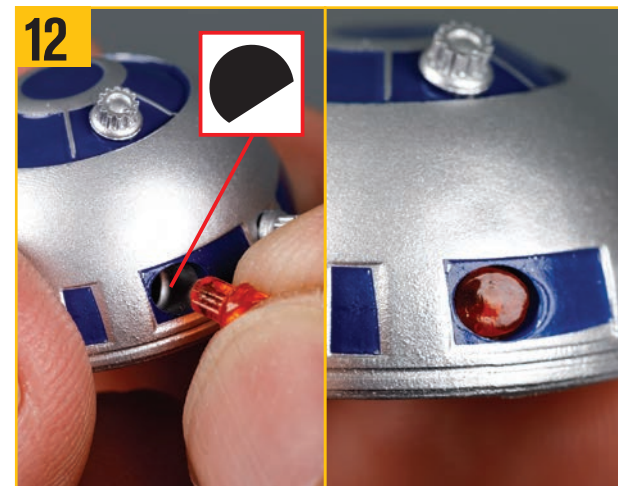
3の形を合わせて、ステージ1で作成した頭部の写真のところに差し込む。



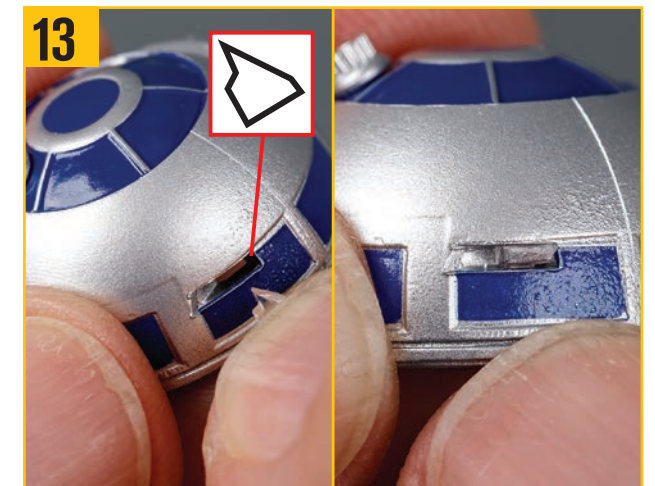
2の突起と頭部の穴はDカットになっているので、形を合わせて差し込む。



5の突起と頭部の穴はDカットになっているので、突起が下にくるように差し込む。レンズは図のように取り付ける。



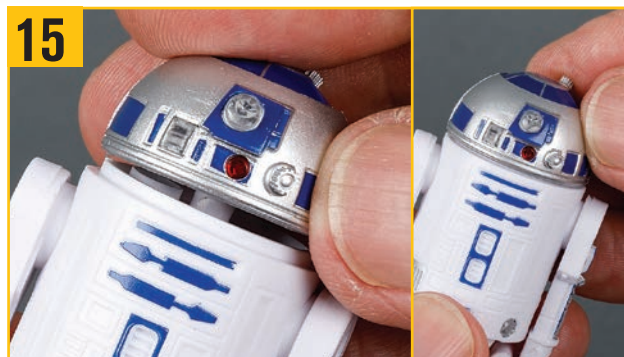
4の突起と頭部の穴はDカットになっているので、形を合わせて差し込む。



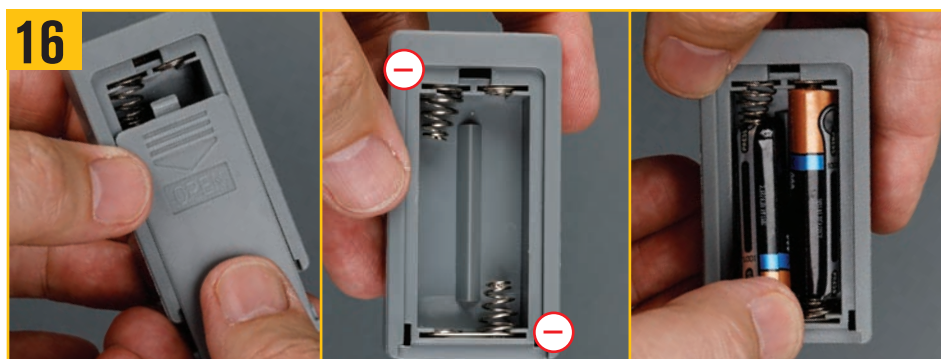
6を写真の向きで頭部の穴に差し込む。



14 頭部の内側にある突起を、シャフトの先端にある六角形の穴に合わせる。



15 頭部を奥まで差し込み、スムーズに回転することを確認する。



16 電池ボックスの [OPEN] とあるところを押し下げて蓋を開け、単4形アルカリ乾電池2本(別売)を、接片がバネになっているほうを-(マイナス)にして入れ、蓋を閉める。



17 電池ボックスと接点ベースのコネクターを写真の向きで持つ。



18 接点ベースのコネクターをまっすぐに差し込む。



19 接点ベースを写真の向きで置き、R2-D2の右脚を乗せる。



LEDが点灯することを確認する。

本ステージの完成: R2-D2



※ステージ5でオプションとして中央脚が付く。

レーザー・キャノン砲(右上)を完成させる

このステージでは内蔵したLEDの光を砲口に導く光ファイバーを配置して、実機では閃光を抑制するためのサブレーザーを取り付け、Xウィングの右舷上翼に取り付けるレーザー・キャノン砲を完成させる。



1 光ファイバーを配置するため、ステージ3で作成したレーザー・キャノン砲を分解する。



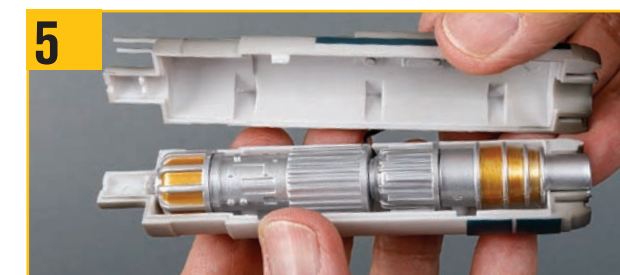
2 ステージ3のステップ13(ページ17)で差し込んだ砲身を取り外す。



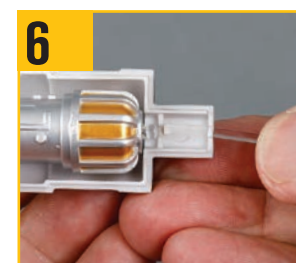
3 エンドキャップ(前)を取り外す。



4 エンドキャップ(後)を取り外す。



5 筐体(外)を外す。このとき、レーザー発生装置は、筐体(内)にある。

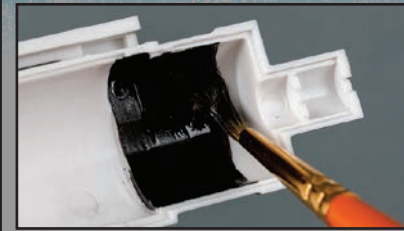


6 光ファイバーの先端を筐体(内)の溝に合わせて、レーザー発生装置のLEDに接触するように配置する。

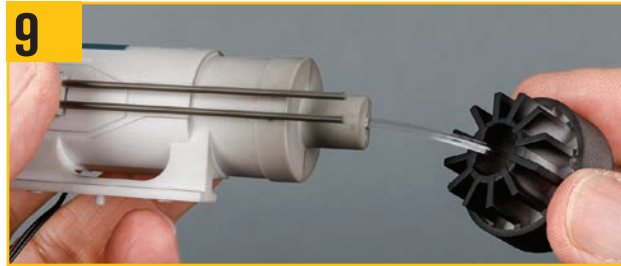


8 光ファイバーがずれないようにしながら、筐体(外)を取り付ける。

ポイントアドバイス



筐体 (外) と筐体 (内) の内側を、模型用塗料 (別売) の「つや消し黒」で写真のように塗ることで、レーザー発生装置に内蔵したLEDが点灯したときに漏れる光を防止することができます。このとき、十分に塗料が乾いたことを確認してから組み立てるようにする。



9 光ファイバーをエンドキャップ (前) に通してから、ステージ3 (17ページ) のステップ11~12を参照して取り付け。



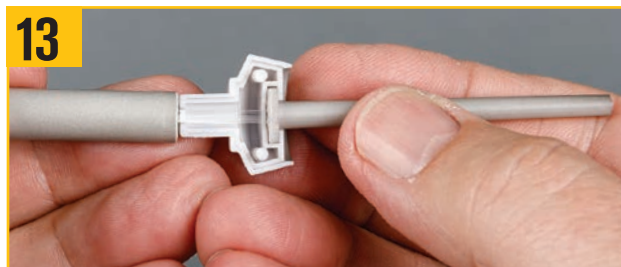
10 エンドキャップ (後) を取り付け。



11 光ファイバーを砲身に通してから取り付け。



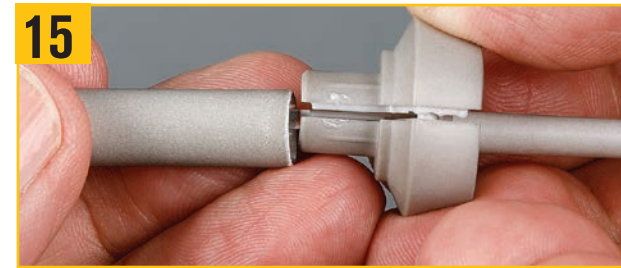
12 砲口のツバがあるほうから光ファイバーを通す。



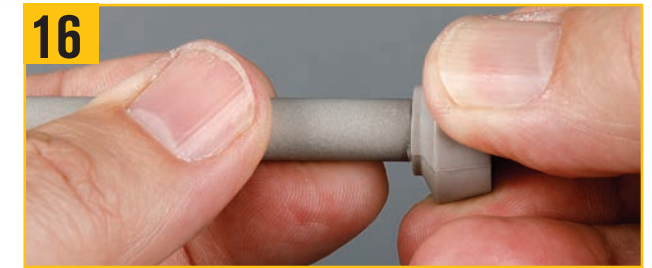
13 砲口のツバを、サブレッサーマウントAに、写真のように差し込む。



14 サブレッサーマウントAのピンとサブレッサーマウントBの穴を合わせる。



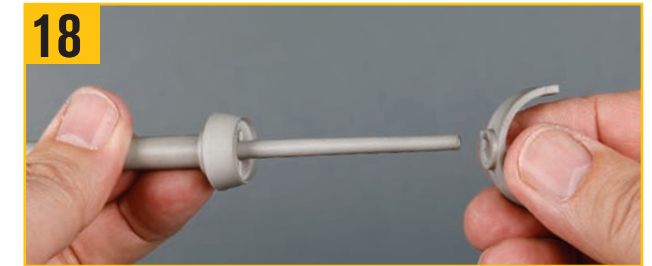
15 サブレッサーマウントAとBを組み合わせる。



16 組み合わせたサブレッサーマウントを、砲身に差し込む。



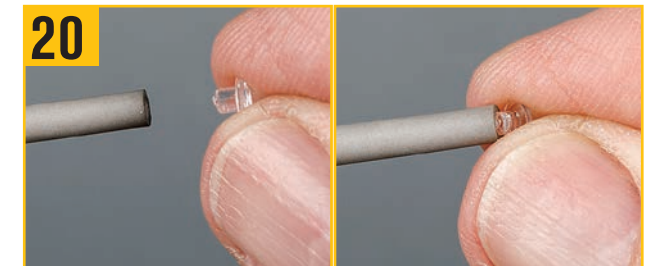
17 サブレッサーマウントAにある凹部と、サブレッサーにある突起を確認する。



18 サブレッサーを砲身に通す。



19 ステップ17で確認した突起と凹部を合わせる。取り付けしたサブレッサーは回転するので、このページ下段のレーザー・キャノン砲全体写真の写真を参考に調整する。



20 砲身の先端に、レンズ1を差し込む。



21 電池ボックスに差し込んだ、接点ベースのコンネクターをつまんで取り外し、代わりに同じ向きでレーザー・キャノン砲から出ているコンネクターを接続する。



22 写真のようにLEDの点灯を確認したら、コンネクターをつまんで電池ボックスから外しておく。

本ステージの完成：レーザー・キャノン砲 (右上)
完成したレーザー・キャノン砲はXウィングの右舷上翼に取り付けるので、ほかと区別をするために、マスキングテープなどに「4-C」と記入しておく。